

2021年度「教員アンケート」結果

【ABC評価】 A:3.4以上 B:3.4未満～2.8以上 C:2.8未満

【4点評価】 4点:当てはまる 3点:どちらかといえば当てはまる 2点:どちらかといえば当てはまらない 1点:当てはまらない

		0	1	2	3	4	総合評価
授業改善の達成度	専門知識・技能に自信を持った指導		3.1				B
	授業の学習規律が成立している		3.6				A
	学習環境が整えられている		3.2				B
	ねらいを明確にした学習過程を工夫している		3.1				B
	ねらいにそって指導と評価を工夫している		2.9				B
	わかる授業をめざし、創意工夫した授業を行っている		3.1				B
	生徒理解に基づく指導を心掛けている		3.2				B
	生徒を大切にしたい生徒指導ができている		3.2				B
学校運営の達成度	情報発信		2.9				B
	学校安全		3.3				B
	メタ認知を心掛け、資質向上に努めている		3.3				B

0	1	2	3	4			
					3.1	B	1 自らの専門知識・技能に自信を持って指導している
					3.8	A	2 チャイムとともに授業を開始している
					3.8	A	3 始礼、終礼をきちんと指導している
					3.3	B	4 自分(教師)の指示に、しっかりと生徒が反応した指導ができている
					3.3	B	5 常に掃除が行き届くよう指導するとともに、率先している
					3.1	B	6 教材、教具、ICT機器等を常に整理整頓している
					3.2	B	7 掲示や教材・教具の配慮等を工夫している
					3.3	B	8 本時のねらいが明確となった導入を工夫している
					3.2	B	9 本時のねらいを追求(探究)する展開を工夫している
					3.1	B	10 本時のねらいと次時のねらいを意識したまとめを工夫している
					2.6	C	11 道徳科による「対話的学び」を理解し、授業構想ができる
					3.0	B	12 ねらいが達成できたかを意図的・計画的に評価している
					3.0	B	13 生徒が主体的・対話的で深い学びとなるような指導を工夫している
					3.1	B	14 生徒に「できた」「わかった」という達成感を実感させている
					2.8	B	15 生徒自身が達成度を自己評価できるよう指導している
					2.7	C	16 生徒の個人差を意識して、課題(家庭学習)を適切に与えている
					3.0	B	17 授業における板書を大切にし、構造的に整理する(創る)ことができる
					3.1	B	18 意図的な発問・指示を適切に行っている
					3.1	B	19 ICT機器を有効活用している
					3.5	A	20 生徒の取組み方や習熟の程度に応じて、ほめたり励ましたりしている
					3.5	A	21 生徒一人一人の質問に丁寧に対応している
					3.0	B	22 生徒一人一人のつまずきを把握している
					3.0	B	23 学習内容につまずいた生徒に対する指導を意図的に行っている
					3.1	B	24 学習内容の理解の進んだ生徒に応じた指導を行っている
					3.1	B	25 不登校の未然防止策の目的を理解し、機を失わず、継続した取組を行っている
					3.6	A	26 いじめの定義と発生の仕組みを理解し、いじめの未然防止に全力を尽くしている
					3.0	B	27 生徒が主体となった自治活動の意義を理解し、適切な支援を行っている
					2.9	B	28 保護者や地域の方への積極的な情報発信を行い、相互理解に努めている
					3.3	B	29 学校安全のリスクマネジメントのため、安全管理・安全教育を普段から行っている
					3.1	B	30 校訓と学校教育目標を基盤とした学年経営、学級経営、教科指導、生徒理解、生徒指導を行っている
					3.7	A	31 法令《道路交通法、体罰、個人情報、金品管理、不適切な行動・発言、人権、県条例(セクハラ、学校禁煙)》を遵守している
					3.6	A	32 保護者や地域から誤解を受けないような服装、身だしなみ、行動、接遇能力の向上に努めている
					3.2	B	33 前例踏襲に縛られず、生徒のために創造的な取組を生み出すことができる
					3.3	B	34 誰とも相互利益を目指した良好なコミュニケーションをとることができる
					3.2	B	35 PDCAサイクルの中で、目的と目標、手段を徹底して吟味し、たゆまぬ改善活動に努めている